

隣人（となりびと）E No. 99 - 2
国際教育センターから皆様へ 1999.1.26

〔季節風〕タイ・プーサム

ヒンズー暦10月「タイ」は、インドでは収穫の季節で、いろんな祭りが行われます。中でも、満月がインド占星12宮の星座プーサム（ギリシアではカニ座）に重なる頃は、破魔神ムルガン（軍神スカンダ=韋駄天）に祈りを捧げる盛大な祭りになります。

この祭りは、シバ派による荒行で有名です。頬や舌、腕などを串刺しにしたり、背中に鉤針（フック）をひっかけたりする風習は、余りに過激ということで、現在インドやスリランカ（セイロン）では禁止されています。だから、今は東南アジアでしか見られません。

信男教育学園生徒の交流反省会 1月19日（火）16:00～16:40

信男教育学園一行を迎えての交流プログラムが、ほぼ終了したことを受けて、平野理事長が茶話会を開かれました。薄衣校長、小山ディレクター、加藤真一先生、関根さんも出席して、信男生5名と陸海州先生から話を聞きました。

啓明学園に対して「生徒と先生が仲がいい」「生徒がのびのびして、自由」という印象を、信男生は抱いたようです。中国では、教師は管理者として厳しく接していることがうかがえます。また、啓明の寮生、そしてホストファミリーが“凄く親切”に世話してくれたと、感謝していました。

「高校生が化粧するのには驚いた（中国では口紅も許されない）」「全てが予定のスケジュール通りに進むけど、準備は大変そう」など率直な話が多く、“改革開放”の空気は、高校生にも明るさと“のびやかさ”を与えているようです。どの子も陽気で、「中国語を習ってみようかな」と思ってしまうほど魅力的でした。

信男教育学園訪問の日程が決定

今度は、こちらから信男教育学園を訪問する番で、概要は次の通りです。なお参加者は、高校1年・2年を対象に募集します。日程は、3月28日（日）から4月5日（月）までの9日間。上海経由で蕪湖に着き、ホームステイしながら（4泊）、蕪湖淑文中学と交流活動をします。また、併設の信男国際商務学院（短大）や黄山の信男日語職業学校、廈門の街（魯林理事長の故郷）を訪ねる予定です。参加費は15万円前後の見込みです。

初等学校の交換ホームステイ（受け入れ）は今週末！

昨年10月30日（金）から11月1日（日）にかけて、初等学校5・6年生27名と斉藤章先生が、横田基地イースト小学校の児童の家庭にホームステイしました。

英語が分からずホームシックになった者、ハロウィン衣装で転んで骨折した者など、若干のアクシデントはあったものの、それぞれが実りある異文化体験ができました。

今度はイースト校の児童がホームステイです。1月29日（金）午後2時頃、スクール

バスで到着し、校内を見学した後にホストファミリーと対面します（3時半頃。滞在先は前記の27名の家庭です）。

なお、ホストファミリーは車で迎えに来ます（荷物が大きいいため）ので、正門の駐車場を空けておく必要があります。当日朝、本校職員の車は校地の奥（寮の方）へ止めるよう徹底しなくてはなりません。本校には外国人講師や非常勤講師が多く、一苦労です。

[おめでとう!] 高橋 みどりさん（高1）

私のメッセージ（校内弁論大会）高校の部で入賞しました。10歳までドイツのハンブルグで育ち、大阪を経て、中2から啓明に編入した生徒です。何事にも**真面目で一生涯**に取り組めますが、それが裏目に出て悩むことも多かったようです。しかし、**聖歌隊とインターアクト・クラブ**に入ってから、活発な性格に変わりました。乙女座。

ひと口ニュース News・News・News・News・News・

1月18日、増澤友也君（高2）が**NHKハート展**（詩）に今年も入賞／編入試験1名（新初1）。

1月19日、**イドゥル・フィットリ**（イスラム教の断食明けの祭り。～19日）／寮生による信男教育学園生徒とのお別れ会。

1月21日、編入試験2名（新中2・高1）。

1月22日、**高校推薦入試**／初等学校教員の研修旅行＜於：信州大学附属小学校＞／理科観察会。今回は、堂が島で**星空教室**（～23日）。

1月23日、**スケート教室**（中・高）／**PTAお父さんの会**。

1月25日、新潟の敬和学園から教師2名来校（日本語教育について）。

啓明学園 国際教育センター

〒196-0002 東京都昭島市拝島町5 1 1 1 5

TEL:042-541-1003 FAX:042-546-5881

Home Page(URL) <http://www.keimei.ac.jp>

E-mail Address: kubo@keimei.ac.jp
